

III 業績

1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告（Web版）に掲載した事項

発表年月	内 容	掲 載 箇 所	提 供 者 名	所 属
R 3. 10	神戸市立須磨海浜水族園イカナゴ企画展における「豊かな海づくり」のイメージおよび活動に関するアンケート調査結果	兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 4: 32-42, 2021	中桐 栄・高倉良太	水産環境部
R 3. 10	大阪湾, 播磨灘における兵庫県のイカナゴ船びき網漁業の漁場分布	兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 4: 15-24, 2021	反田 實	
R 3. 11	硝酸態窒素の連続観測による陸域からの溶存態無機窒素供給がノリの色調に与える影響	兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告 5: 1-11, 2022	原田和弘・宮原一隆・川崎周作	水産増殖部・水産環境部ほか

2 外部に発表した事項

(1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
R 3. 4	瀬戸内海における漁業生産の動向と栄養塩類環境	環境技術 50(4), 210-216	反田 實	
R 4. 2	Seasonal and annual dynamics of phytoplankton off Tajima, southwestern Sea of Japan	Plankton and Benthos Research 17(1), 83-90	西川哲也・原田和弘・渡辺 剛	水産環境部ほか
R 4. 3	LC-MS/MS を用いた魚肉、ヒト血清及び尿中のバリトキシン分析法の検討	兵庫県立健康科学研究所研究報告 4, 10-14, 2022	吉岡直樹・宮原一隆・風見眞紀子	水産環境部ほか
R 4. 3	Asymptomatically infected broodstock are a potential infection source for aquareovirus outbreaks in hatchery-reared Japanese flounder <i>Paralichthys olivaceus</i>	Fish Pathology 57(1), 11-19	河東康彦・前田知己・西岡豊弘・桐生郁也・米加田 徹・松山知正・天社こずえ・山下 勲・川村芳浩・樂 敦司・仙北尾 圭・柳宗悦・林 亨次・熊谷明・森 浩一郎	水産増殖部ほか

(2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
R 3. 5	生体電気計測を利用した海中での遊泳監視	日本人間工学会第 62 回大会	瀧澤由佳子・宮原一隆・村井康二・奥野竜平・有馬正和・才木常正	水産環境部ほか
R 3. 11	Ecopath with Ecosim モデルによる イカナゴ資源の栄養塩・温度依存性の解析	令和 3 年度海洋理工学会秋季大会	屋敷朋也・西川哲也・反田 實・相馬明郎	水産環境部ほか
R 3. 11	養殖海苔に色落ち被害を引き起こす珪藻～ <i>Eucampia zodiacus</i> を例に	日本珪藻学会第 41 回研究集会	西川哲也	水産環境部
R 3. 12	ノリ漁場におけるクロダイの食害対策に向けた行動追跡	令和 3 年度日本水産学会近畿支部例会	高倉良太・谷田圭亮・水野愁太・光永 靖	水産環境部・水産増殖部
R 4. 3	兵庫県におけるノリ養殖の現状と課題	水産海洋学会第 2 回東部瀬戸内海研究集会	谷田圭亮	水産増殖部

(3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 3. 6	瀬戸内海の貧栄養化と漁業生産について	漁港漁場事業研修会資料	反田 實	
R 3.12	豊かな海の実現に向けて	拓水 782	反田 實	
R 3.11	LC-MS/MS を用いた魚肉、ヒト血清及び尿中のパリトキシン分析法の検討	令和3年度地方衛生研究所 全国協議会近畿支部自然 毒部会研究発表会要旨集	吉岡直樹・風見眞紀 子・宮原一隆	水産環境部ほか
R 3. 4	日本バイオリギング研究会会報 No.176 調査報告「黒幕を追え!!ノリ養殖現場 24 時」	日本バイオリギング研究 会	高倉良太・谷田圭亮	水産環境部・水 産増殖部
R 4. 3	播磨灘北西部における陸域からの栄養塩供 給が二枚貝養殖漁場の生産力に及ぼす影響 の解明	令和3年度漁場環境改善推 進事業のうち栄養塩、赤 潮・貧酸素水塊に対する被 害軽減技術等の開発(1)栄 養塩の水産資源に及ぼす 影響の調査報告書	高倉良太・岡本繁好・ 原田和弘・宮原一隆	水産環境部・水 産増殖部
R 4. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック令和3年 度浅海定線観測等担当者 会議議事録(抄)	高倉良太 他 28 名	水産環境部
R 4. 3	有害プランクトンの出現動態監視及び予察 技術開発 瀬戸内海東部	令和3年度漁場環境改善推 進事業のうち「赤潮被害防 止対策技術の開発」報告書	小川健太・松下悠介・ 秋山 諭・辻村裕紀・ 田中咲絵・近藤 健・ 妹背秀和・宮原一隆・ 石黒貴裕・古村振一・ 高木秀蔵・嵐 俊右・ 朝田健斗・棚田教生	水産環境部ほか
R 3.10	兵庫県内海における 2020 年および 2021 年 の漁況	第 52 回瀬戸内海東部カタ クチワシ等漁況予報会 議報告	西川哲也	水産環境部
R 4. 3	兵庫県におけるノリ養殖等の概況および試 験研究項目	令和3年度瀬戸内海ブロッ ク水産業関係試験研究推 進会議藻類情報交換会資 料集	谷田圭亮・岡本繁好	水産増殖部
R 4. 3	有害プランクトンの出現動態監視および予 察技術開発 日本海西部海域	令和3年度漁場環境改善推 進事業のうち「赤潮被害防 止対策技術の開発」報告書	武坂 亮・大里 純・ 渡辺秀洋・柿並宏明・ 白木信彦・清川智之・ 谷口祐介・鈴木雅巳・ 鬼塚 剛・坂本節子	但馬水技ほか

(4) 研究会(大会・研究会)等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 3. 5	瀬戸内海の貧栄養化と漁業生産	明石市議会視察研修	反田 實	
R 3. 7	瀬戸内海におけるイカナゴ漁の現状	伊勢湾イカナゴモデル第1 回意見交換会	反田 實	
R 3. 8	現場から見た大阪湾・播磨灘の環境と漁業 の変遷	須磨里海の会第6回勉強 会	反田 實	
R 3. 8	兵庫県の漁業(瀬戸内海)と環境の現状と 取組	兵庫県高齢者大学	反田 實	
R 3. 8	カキ養殖に求められる豊かな海とは	第12回全国カキサミット 兵庫大会	反田 實	
R 3. 9	イカナゴの不漁や養殖ノリの色落ちについ て	神戸市シルバーカレッジ	反田 實	

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 3. 11	イカナゴはどうして減っているのか？～瀬戸内の海の豊かさを守る Part II～	神戸常盤大学公開講座	反田 實	
R 3. 11	瀬戸内海の貧栄養化と兵庫県漁業の現状	東京都漁連視察研修	反田 實	
R 3. 12	豊かな海とは	JF 兵庫漁連おさかな講師学習会	反田 實	
R 3. 12	栄養塩管理制度とその背景	大輪田塾	反田 實	
R 4. 1	イカナゴはなぜ減ってきたのか～そのシナリオについて～	(公社) 神戸市海難防止研究会	反田 實	
R 4. 2	豊かな海を求めて	須磨 FRS ネット自然環境サミット 2022	反田 實	
R 4. 3	イカナゴはなぜ減ってきたのか～そのシナリオ～	平和・民主・革新の日本をめざす垂水の会	反田 實	
R 3. 10	貝毒安全対策強化事業経過報告	令和3年度貝毒安全対策連絡協議会	宮原一隆	水産環境部
R 3. 12	「ちりめん」ってなに？	神戸常盤大学サイエンスカフェ ちりめんモンスターとにぎやかな海	宮原一隆・中桐 栄	水産環境部
R 3. 7	須磨海岸実習 (プランクトン採集、砕波帯ネットによる生物採集、採集物の観察)	地域課題ワークショップ (高校生サミット)	宮原一隆・妹背秀和・谷田圭亮	水産環境部・水産増殖部
R 3. 12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	令和3年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会	妹背秀和	水産環境部
R 4. 1	R3 年度ノリ漁期における <i>Eucampia zodiacus</i> の発生予測とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	妹背秀和	水産環境部
R 4. 2	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 瀬戸内海東部	令和3年度漁場環境改善推進事業のうち「赤潮被害防止対策技術の開発結果検討会	小川健太・松下悠介・秋山 諭・辻村裕紀・田中咲絵・近藤 健・妹背秀和・宮原一隆・石黒貴裕・古村振一・高木秀蔵・嵐 俊右・朝田健斗・棚田教生	水産環境部ほか
R 3. 8	学ぼう豊かな海づくり～手をつなぎ未来に贈る豊かな海～「イカナゴについて」	イオンモール株式会社 (イオン明石ショッピングセンター「学び」企画)	魚住香織	水産環境部
R 3. 8	2021 年漁期兵庫県イカナゴ漁について	水産資源調査・評価推進事業 (イカナゴ瀬戸内海東部系群) に係る令和3年度第1回情報交換会	魚住香織	水産環境部
R 3. 10	2021 年度のイカナゴ夏眠状況について	水産資源調査・評価推進事業 (イカナゴ瀬戸内海東部系群) に係る令和3年度第2回情報交換会	魚住香織	水産環境部
R 3. 11	令和3年度イカナゴ夏眠期調査結果について	令和3年漁期第4回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 4. 1	今漁期のイカナゴ親魚調査結果について	令和4年フルセ操業関係組合代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 4. 2	イカナゴはどうして減っているのか？～瀬戸内の海の豊かさを守る Part I～	神戸常盤大学地域交流センターセミナー	魚住香織	水産環境部
R 4. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和4年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 4. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和4年漁期第1回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 4. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	令和4年漁期第2回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	令和4年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員会	魚住香織	水産環境部
R 4. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和4年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員会	魚住香織	水産環境部
R 4. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和4年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員会	魚住香織	水産環境部
R 4. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和4年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織	水産環境部
R 3. 11	海苔の食害調査結果について	神戸市のり協議会 令和3年度海苔養殖漁期前講習会	高倉良太	水産環境部
R 4. 1	2021年の播磨灘の漁場環境	養殖ノリ色落ち中期予測等情報交換会	高倉良太	水産環境部
R 3. 10	クロアワビ種苗で発生したピブリオ病について	西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会	増田恵一	水産増殖部
R 3. 11	魚類防疫地域合同検討会情報	瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	増田恵一	水産増殖部
R 3. 8	昨年度の種苗生産結果と今年度の対応	南あわじ漁協ワカメ種苗生産技術研修会	岡本繁好	水産増殖部
R 3. 7	ノリ食害調査（令和2年度漁期）結果報告	神戸市漁業協同組合	谷田圭亮	水産増殖部
R 3. 10	ノリ ー兵庫県のノリ養殖ー	地域課題ワークショップ（高校生サミット）	谷田圭亮	水産増殖部
R 3. 11	令和3年度漁期に向けての養殖管理	神戸市のり協議会 令和3年度海苔養殖漁期前研修会	谷田圭亮	水産増殖部
R 3. 11	ノリ食害調査ーこれまでの経過ー	神戸市のり協議会 令和3年度海苔養殖漁期前研修会	谷田圭亮	水産増殖部
R 3. 1	令和3(2021)年漁期 これまでの経過	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	谷田圭亮	水産増殖部
R 3. 6	魚病に関する情報交換	令和3年度全国養鱒技術協議会魚病対策研究部会	安信秀樹	内水面
R 3. 9	兵庫県内水面養殖における魚病診断件数の推移	第35回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	安信秀樹	内水面
R 4. 2	令和3年度のニジマス魚病発生状況・水産用医薬品の適正使用について	令和3年度ニジマス魚病防疫講習会	安信秀樹	内水面
R 3. 10	令和2年漁期のアカガレイ漁況と資源調査結果の概要	第11回日本海西部あかがれい・ずわいがに広域資源管理検討協議会	大谷徹也	但馬水技
R 4. 1	日本海西部海域における有害赤潮監視予測体制	La Mer 研究集会「赤潮の予測に向けた観測とモデリング」	鬼塚 剛・武坂 亮・大里 純・渡辺秀洋・鈴木雅巳・清川智之・金元保之・柿並宏明・白木信彦・坂本節子	但馬水技ほか
R 4. 2	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 日本海西部海域	令和3年度漁場環境改善推進事業のうち「赤潮被害防止対策技術の開発」結果検討会	武坂 亮・大里 純・渡辺秀洋・柿並宏明・白木信彦・清川智之・谷口祐介・鈴木雅巳・鬼塚 剛・坂本節子	但馬水技ほか

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 2	日本海但馬沿岸における無効分散資源の来遊水準と潜在的漁獲量	令和3年度水産資源調査・評価等推進委託事業日本海ブロック資源評価担当者会議	鈴木雅巳	但馬水技
R 3. 6	日本海西部海域におけるズワイガニの標識放流結果と移動特性	2021 年度日本水産工学会 学術講演会	三浦 浩・伊藤 靖・田村一樹・野々村卓美・内田 浩・佐藤英雄・梅津啓史・宮園千恵	但馬水技ほか
R 3. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	令和3年度ズワイガニ研究協議会	田村一樹	但馬水技
R 3.10	令和2年漁期ズワイガニ漁況の概要	第11回日本海西部あかがれい・ずわいがかに広域資源管理検討協議会	田村一樹	但馬水技
R 4. 3	但馬におけるズワイガニ漁業と資源保護への取り組み	大輪田塾	田村一樹	但馬水技
R 4. 3	日本海におけるノロゲングの成熟・産卵様式	令和3年度東北ブロック底魚研究連絡会議	佐藤隆太・田村一樹・藤原邦浩・佐久間 啓・片山知史	但馬水技ほか

(5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 3. 6	今漁期の問題点と今後の対応(瀬戸内地区)	海苔タイムス 2389 号	谷田圭亮	水産増殖部
R 3.10	来たる漁期の生産対策(瀬戸内地区)	海苔タイムス 2400 号	谷田圭亮	水産増殖部
R 4. 2	食害の現状と対策ー兵庫県の養殖ノリ被害実態	海苔タイムス 2412 号	谷田圭亮・高倉良太・光永 靖ほか	水産増殖部・水産環境部ほか
R 4. 2	ノリの食害発生時期ー水温 10℃に達するまでに限定	海苔タイムス 2413 号	高倉良太・谷田圭亮・光永 靖ほか	水産環境部・水産増殖部ほか

(6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	長濱達章	水産環境部
漁場環境情報	12	高倉良太・妹背秀和	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果(播磨灘)	7	西川哲也	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果(大阪湾・紀伊水道)	3	魚住香織	水産環境部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	魚住香織	水産環境部
イカナゴシンコ漁況予報	1	魚住香織	水産環境部
水温観測情報	52	中桐 栄	水産環境部
貝毒情報	73	中桐 栄・妹背秀和	水産環境部
赤潮情報	29	妹背秀和・中桐 栄	水産環境部
ノリ養殖環境速報(播磨灘)	16	高倉良太・妹背秀和・のり研究所	水産環境部・のり研究所
ノリ養殖環境速報(大阪湾)	6	谷田圭亮・岡本繁好・中桐 栄・のり研究所	水産増殖部・水産環境部・のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・妹背秀和	水産増殖部・水産環境部
但馬水産技術センターだより			
海況情報	38	鈴木雅巳	但馬水技
漁況情報	36	鈴木雅巳・大谷徹也・田村一樹・齋藤公司	但馬水技・但馬水産事務所
貝毒情報	4	鈴木雅巳・笹江祥加	但馬水技・但馬水産事務所
漁況速報	52	鈴木雅巳	但馬水技
イカ漁況日報	169	鈴木雅巳	但馬水技

(7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 2	チヌとの共存を目指して 養殖ノリの食害に釣り人が協力し生態調査	ちぬ倶楽部 2022年2月号	谷田圭亮・高倉良太	水産増殖部・水産環境部

(8) 技術書籍等

なし。

(9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 3. 10	ノリの食害 主因はチヌ 行動パターン判明	毎日新聞	高倉良太・谷田圭亮	水産環境部・水産増殖部
R 3. 10	養殖ノりにチヌの被害 チヌに発信機 動き解明し被害防止へ	神戸新聞	高倉良太	水産環境部
R 3. 10	養殖ノりにチヌの被害 海の栄養塩不足影響か	神戸新聞	谷田圭亮	水産増殖部
R 4. 2	風と水と土と ひょうごテロワール (6) 播磨灘のカキ 森からの恵みが海を育む	神戸新聞	谷田圭亮	水産増殖部
R 4. 3	風と水と土と ひょうごテロワール (7) ホタルイカ 但馬に春呼ぶ「海の宝石」	神戸新聞	大谷徹也	但馬水技

(10) テレビ・ラジオ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 4. 3	「海峡のまち明石」明石の自然・生きものを大切に 特集「春を告げる魚～イカナゴってどんな魚?～」	明石ケーブルテレビ	魚住香織	水産環境部
R 3. 10	豊かな海を守ろう! ひょうごシーレンジャー (瀬戸内海編)	サンテレビ	中桐 栄・堀 豊	水産環境部
R 3. 10	豊かな海を守ろう! ひょうごシーレンジャー (日本海編)	サンテレビ	中桐 栄・堀 豊	水産環境部
R 3. 12	<特集>異変! 育てたはずの「養殖海苔」が消えてなくなる 原因は「黒い群れ」と「大型船」か～よんちゃんTV	MBS 毎日放送	高倉良太・谷田圭亮	水産環境部・水産増殖部
R 4. 1	<特集>神戸の海苔が激減...”原因”の魚を追い!～報道ランナー	関西テレビ放送	高倉良太・谷田圭亮	水産環境部・水産増殖部
R 4. 2	「ありがとう! 縁の下のマイスター」 #26 「明石のり一筋 45年の敏腕漁師」～よんちゃんTV	MBS 毎日放送	谷田圭亮	水産増殖部
R 4. 2	「ありがとう! 縁の下のマイスター」 #29 「明石のり一筋 45年の敏腕漁師」～よんちゃんTV	MBS 毎日放送	谷田圭亮	水産増殖部
R 4. 3	<気になるギモン>養殖のノリが消えた原因・根こそぎ…誰がねらった～live news イット!	フジテレビ	谷田圭亮・高倉良太	水産増殖部・水産環境部
R 3. 11	ひょうご発信! #175【教えて!ひょうご】「但馬地域の漁業」	サンテレビ	山中健志郎・大谷徹也・中村 匠	但馬水技、北部農業・加工流通部

(11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 3. 10	成果普及資料 地場種苗を活かしたマガキ養殖のすすめ～その理論と実践～ ・潮下帯採苗 ・兵庫県における殻付きカキ生産	水産研究教育機構	谷田圭亮	水産増殖部
R 3. 6	私の試験研究 「ナルトビエイで革製品と加工食品をつくる試験をしました」	兵庫県立農林水産技術総合センター	森 俊郎	但馬水技
R 4. 3	広報動画 「ナルトビエイの省力皮剥ぎ技術の開発～ナルトビエイで革製品と加工食品をつくる～」	兵庫県立農林水産技術総合センター	森 俊郎	但馬水技

3 見学会及び研究発表会

(1) 見学会

なし。

(2) 研究発表会

ア 日 時

令和3年9月17日14時～16時半

イ 場 所

オンライン配信

ウ 課 題

スモールデータで探る日本海但馬沿岸における暖海性大型いか（ソデイカ）の来遊資源水準

(発表者：但馬水産技術センター主任研究員 鈴木雅巳)

最近の調査でわかった養殖ノリの食害状況とクロダイの行動

(発表者：水産技術センター水産増殖部研究員 谷田圭亮)

(発表者： ” 水産環境部研究員 高倉良太)

突然変異異種による養殖ノリの高水温耐性品種作出に向けた取り組み

(発表者：水産技術センター水産増殖部主席研究員 岡本繁好)

ナマコの種苗生産を始めました

(発表者：ひょうご豊かな海づくり協会主査 東 大輔)

4 特許・実用新案出願・登録状況

【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H21. 4. 3 H21. 5. 18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	
	H22. 10. 22 H22. 10. 25		H23. 1. 31 H25. 7. 12	バラ干し海苔の製造方法	

発明（出願特許）の概要

発明の名称	発明の概要
養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。
バラ干し海苔の製造方法	バラ干し海苔の色の見た目の色の改善を図り、長期間冷凍保存をしても品質や鮮度が劣化しないバラ干し海苔の製造方法を提供する。 バラ干し海苔の製造方法は、採集した原藻を熱湯に浸漬し湯引かせる湯引き工程、次に、脱水工程、その後、乾燥工程、から成る。これに加えて、原藻を湯引き後に凍結保存を行うことにより、原料として長期保存が可能となり、時期・量を問わずバラ干し海苔を供給できる。本バラ干し海苔の製造方法によれば、バラ干し海苔の保存性や風味を向上できる。

5 学位・表彰等

なし。

6 研究員の派遣

なし。

7 研修生・見学者の受け入れ

(1) 一般研修生の受け入れ

団体又は組織	人数	研修課題	期間	受け入れ部門
朝来市立小学校（生野・糸井・枚田）	4名	社会体験研修	R3. 8. 3	内水面
朝来市小小連携推進事業研修会（3年生部会）	15名	兵庫県内水面漁業の現状 兵庫県内水面漁業センターについて	R3. 8. 12	内水面
兵庫県立西播磨高齢者大学	3名	兵庫県の漁業（瀬戸内海）と環境の現状と取り組み	R3. 8. 26	水産環境部
神戸市シルバーカレッジ	9名	漁場環境の変化と漁獲物	R3. 9. 24	水産環境部
サンテレビひょうごシーレンジャー	46名	豊かな海を守る私たちの責任	R3. 10. 3	水産環境部
神戸女子大学	2名	栽培漁業	R3. 10. 3	水産環境部
朝来市立大蔵小学校	27名	採卵実習	R3. 10. 20	内水面
兵庫県漁業協同組合連合会	13名	豊かな海づくり、栽培漁業、遊漁、貝毒等にかかる学習	R3. 12. 20	水産環境部
大輪田塾	11名	水産技術センターの概要について	R4. 2. 22	水産環境部
北里大学大学院	1名	イカナゴ稚魚の飼育（研究員受入）	R4. 3. 4～R4. 4. 5	水産環境部
但馬水産事務所	5名	ウニ畜養水の水質分析	R3. 4. 26～27	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	2名	採水方法の指導	R3. 5. 11	但馬水技 (現地)
東洋食品工業短期大学	7名	宇宙食用ホタルイカの茹で加工	R3. 5. 15	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	4名	ウニ用餌料の冷凍・保護処理	R3. 5. 17, 19	但馬水技 (加工実験棟)

新温泉農業改良普及センター、三尾ワカメ生産組合	10名	湯通し塩蔵わかめの加工	R3. 5. 20	但馬水技 (現地)
ながすな蒨	2名	サケ軟骨ペーストの加工	R3. 5. 27, 6. 1, 6. 16	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	2名	ウニ用餌料の加工	R3. 6. 3	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	1名	ウニ加工用塩水の調整方法	R3. 6. 23	但馬水技 (加工実験棟、利用加工研究室)
全国豊かな海づくり大会推進室	2名	スサビノリの標本作製	R3. 6. 24	但馬水技 (加工実験棟、利用加工研究室)
但馬水産事務所	2名	塩水うにの加工	R3. 6. 28	但馬水技 (利用加工研究室)
全国豊かな海づくり大会推進室	2名	スサビノリ標本の保蔵と品質評価	R3. 7. 5	但馬水技 (利用加工研究室)
加西農業改良普及センター、里芋生産者	3名	里芋の冷凍保蔵	R3. 7. 7	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所、但馬漁協	8名	ゲンゲ練り製品の加工と品質評価	R3. 7. 12	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	1名	塩うにの加工	R3. 7. 14, 15	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	2名	塩うにの保蔵と品質評価	R3. 7. 21, 27, 28	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	1名	未利用魚の冷凍保存方法	R3. 8. 4	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	1名	市販ウニ加工品の品質評価	R3. 8. 10	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	延べ10名	ズワイガニ乾燥標本の作製	R3. 8. 18, 19, 23, 25, 9. 8, 16	但馬水技 (利用加工研究室)
加古川農業改良普及センター、アミーチェ	3名	水産加工の基礎	R3. 8. 31	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	延べ5名	クモヒトデ乾燥標本の作製	R3. 10. 5, 6, 7, 12, 13	但馬水技 (利用加工研究室)
豊岡農業改良普及センター	1名	シャインマスカットの冷凍方法と乾燥方法	R3. 9. 14	但馬水技 (加工実験棟、利用加工研究室)
豊岡農業改良普及センター	2名	シャインマスカット乾燥品の品質評価	R3. 9. 16	但馬水技 (利用加工研究室)
豊岡農業改良普及センター	1名	シャインマスカットの凍結方法	R3. 9. 21	但馬水技 (加工実験棟)
豊岡農業改良普及センター	1名	シャインマスカット乾燥品の品質評価	R3. 9. 28	但馬水技 (加工実験棟)
但馬水産事務所	3名	ドスイカの加工	R3. 10. 1	但馬水技 (加工実験棟、利用加工研究室)
但馬水産事務所	1名	アカガレイの魚体処理方法	R3. 10. 6	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬水産事務所	2名	ゲンゲ、ドスイカの冷凍保蔵試	R3. 10. 19	但馬水技 (加工実験棟)
総合センター、加西農業改良普及センター、朝来農業改良普及センター、豊岡農業改良普及センター	4名	水産加工の基礎	R3. 11. 1	但馬水技 (技術研修室、加工実験棟、利用加工研究室)
豊岡農業改良普及センター	1名	干しぶどう加工品の品質評価	R3. 11. 1	但馬水技 (利用加工研究室)

加西農業改良普及センター、里芋生産者	2名	里芋の冷凍保蔵と品質評価	R3. 11. 16	但馬水技 (利用加工研究室)
洲本農林水産振興事務所、若男水産	2名	トラフグ卵巣の塩蔵	R3. 11. 16	但馬水技 (加工実験棟)
加古川農業改良普及センター、アミーチェ	4名	ノリ佃煮の殺菌方法	R3. 12. 1	但馬水技 (現地)
全国豊かな海づくり大会推進室	1名	スサビノリ乾燥標本の作製	R4. 1. 7, 8	但馬水技 (利用加工研究室)
但馬漁協	延べ18名	ノログンゲの加工試験	R4. 1. 12, 13	但馬水技 (加工実験棟)
洲本農林水産振興事務所、若男水産	2名	トラフグ卵巣の塩蔵	R4. 3. 3	但馬水技 (加工実験棟)
加西農業改良普及センター、里芋生産者	2名	里芋の冷凍保蔵と品質評価	R4. 3. 14	但馬水技 (利用加工研究室)
兵庫県漁業協同組合連合会但馬支所	3名	ベニズワイガニの無水輸送	R4. 3. 25	但馬水技 (加工実験棟)

(2) トライやるウィーク体験事業

学校名	研修課題	期間	受け入れ部門
朝来中学校 5名 (5日間)	飼育水槽・人工河川の掃除、飼育魚への給餌、採卵実習	R3. 10. 25～29	内水面
大蔵中学校、錦城中学校、江井島中学校、魚住中学校各1名 (5日間)	展示魚飼育・捕獲作業、研究員補助、見学対応補助	R3. 11. 8～12	水産環境部、水産増殖部
香住第一中学校 4名 (5日間) + 夢ヶ丘中学校 4名 (うち2日)	ハタハター夜干し加工実習、生物スケッチ、生物測定とデータ集計 (ハタハタ・ホタルイカ)、ニギス練り製品加工実習、かに籠躰装、ロープワーク	R3. 5. 31～6. 4	但馬水技、北部農業・加工流通部

(3) 受託研修・国際交流課からの依頼による研修の受け入れなし。

(4) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 3. 4	1	5	5	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	1	5	0	0	5	0
8	2	10	0	0	7	3
9	2	70	60	0	0	10
10	3	97	0	64	0	33
11	4	210	0	199	0	11
12	6	137	16	108	0	13
R 4. 1	0	0	0	0	0	0
2	1	11	11	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	20	545	92	371	12	70

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 3. 4	8	15	1	0	0	14
5	6	18	0	10	0	8
6	6	13	0	0	0	13
7	6	17	0	4	0	13
8	12	37	0	21	0	16
9	10	42	0	11	0	31
10	11	63	0	52	0	11
11	8	14	0	0	0	14
12	1	2	0	0	0	2
R 4. 1	1	1	0	6	0	1
2	4	9	0	0	0	9
3	9	16	2	0	0	14
合計	82	247	3	98	0	146

※ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、団体見学を原則休止

【但馬水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 3. 4	0	0	0	0	0	0
5	1	8	0	8	0	0
6	4	20	0	20	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	1	2	0	0	2	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
R 4. 1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	6	30	0	28	2	0

【但馬水産技術センター】

(北部農業技術センター農業・加工流通部 担当分)

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
R 3. 4	21	25	11	0	14	0
5	30	47	12	15	20	0
6	28	43	7	11	25	0
7	22	39	13	0	26	0
8	23	30	4	0	26	0
9	13	20	3	0	13	4
10	22	29	0	0	24	5
11	13	17	4	0	13	0
12	13	13	2	0	11	0
R 4. 1	22	38	20	0	16	2
2	11	15	1	0	14	0
3	16	22	8	0	8	6
合計	234	338	85	26	210	17

(加工相談のうち来訪分)

8 資格・認定研修への講師派遣

(1) 水産加工食品製造業技能評価試験への試験官派遣

主催者：全国水産加工業協同組合連合会

試験官・(部署)：森 俊郎 (但馬水産技術センター)

参集範囲：但馬管内の水産加工業者

研修名 参集範囲・人員	主催者 研修内容	講師・(部署)	時期
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・11名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験 (専門級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 調味加工品2名 乾製品9名の試験官	R3. 4. 13
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・11名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験 (専門級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 塩蔵品4名 乾製品7名の試験官	R3. 4. 14
水産加工食品製造業技能評価試験 明石管内の水産加工業者・9名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験 (専門級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 調味加工品4名 塩蔵品5名の試験官	R4. 1. 19

9 その他(出版物等)

・令和2年度 兵庫県農林水産技術総合センター年報(水産編)